

## 第21回YMF Sセーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖 帆走指示書

### 1. 適用規則

- 1.1 本大会は、セーリング競技規則 2013～2016（以下R R Sと称する）及び同付則、日本セーリング連盟規程を適用します。
- 1.2 競技種目（シーホッパー級SR、FJ級、OP級及びミニホッパー級）の各クラス規則を適用します。
- 1.3 競技規則 42 の違反に対しては、競技規則付則Pを適用します。
- 1.4 大会レース公示及びこの帆走指示書を適用します。但し各規則間で一致しない事項が生じた場合は、この帆走指示書を優先します。

### 2. 選手への通告

- 2.1 選手への通告は、陸上本部前の公式掲示板に提示します。
- 2.2 海上での選手への通告は、レース委員会スタート運営船にL旗を掲揚すると共に音響信号一声を發します。  
ただしスタート運営船、その他レース委員会運営船にN/H旗、N/A旗、AP/A旗またはAP/H旗が掲揚された場合は、「全艇直ちに帰港し、帰着申告を下さい」を意味します。
- 2.3 信号旗が当該クラス旗の上に掲揚された場合には、そのクラスのみ適用されることを意味します。

### 3. 帆走指示書の変更

- 3.1 帆走指示書の変更は、それが有効となる日の8:00までに掲示します。  
但し、レース日程の変更は、実施日の前日17:00までに掲示します。

### 4. 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発せられる信号は、陸上本部前のポールに掲揚します。
- 4.2 回答旗が音響信号2声と共に掲げられた時は「レースは延期されているので出艇してはいけません」  
最初の予告信号は、回答旗の降下後30分以降に発せられます。
- 4.3 クラス旗の上に回答旗が掲げられた時は、「そのクラスのみ延期されている」ことを意味します。
- 4.4 出艇を許可する場合は、「D旗」を掲揚します。

### 5. レースの日程

#### 5.1 日程

3月23日（土）

10:25	シーホッパー級SR	第1レース
10:30	FJ級	第1レース
10:35	ミニホッパー級	第1レース
引き続き	シーホッパー級SR	第2レース
	FJ級	第2レース
	ミニホッパー級	第2レース
13:05	OP級	第1レース
引き続き	OP級	第2レース

3月24日(日)

9:25	シーホッパー級 SR	第3レース
9:30	FJ級	第3レース
9:35	OP級	第3レース
9:40	ミニホッパー級	第3レース
引き続き	シーホッパー級 SR	第4レース
	FJ級	第4レース
	OP級	第4レース
	ミニホッパー級	第4レース
13:55	シーホッパー級 SR	第5レース
	FJ級	第5レース
	OP級	第5レース
	ミニホッパー級	第5レース

3月25日(月)

9:00	シーホッパー級 SR	第6レース
	FJ級	第6レース
	OP級	第6レース
	ミニホッパー級	第6レース
引き続き	シーホッパー級 SR	第7レース
	FJ級	第7レース
	OP級	第7レース
	ミニホッパー級	第7レース

5.2 本大会は、7レースを予定します。

5.3 1日に行われるそのクラスのレースは4レースを超えることはありません。

5.4 最終日のレースの予告信号は、12:01以降の掲揚は行いません。

5.5 その日のレース出艇前にレース委員会は参加クラブの指導者、保護者を対象にブリーフィングを行います。

## 6. クラス旗

6.1 各スタートにおいては、下記のクラス旗を掲揚します。

クラス	クラス旗
シーホッパー級 S R	シーホッパー級 S R 旗
F J 級	F J 級旗
ミニホッパー級	ミニホッパー旗
OP 級	O 旗

## 7. レースエリア

7.1 レースエリアは「三ヶ日青年の家」沖に設置します。(添付図2「レースエリア」参照)

## 8. コース

8.1 添付図1「コース図」の通り、各クラスの通過するマークの順序、各マークの定められた側を示します。

8.2 マーク④からフィニッシュへのコース角度は任意で設置します。

## 9. マーク

9.1 マーク①②③は、オレンジ色の三角型ブイを使用します。

9.2 OP級のマーク①は、その他のクラスの三角型ブイの風下側に YAMAHA と記載されたグレー色の円筒形ブイを設置します。

9.3 マーク④は赤色の三角型ブイを使用します。

9.4 スタートマーク及びフィニッシュのアウト側エンドのブイは、黄色の円柱型ブイを使用します。

9.5 マークの紛失及び流出の時は、M旗を掲げたレース運営船を元の位置に設置します。

## 10. スタート

- 10.1 スタート・ラインは、スタート運営船にオレンジ旗を掲げているポールと黄色の円筒型ブイの間とします。
- 10.2 シーホッパー級SRおよびFJ級のコースは、アウターコースとインナーコースを設定し、数字旗で示します。アウターコースは、数字旗1、インナーコースは、数字旗2を準備信号と同時に掲揚します。
- 10.3 OP級およびミニホッパー級は、アウターコースのみとします。
- 10.4 RRS26の方式に従いスタートします。

時間	信号	旗	音響信号
スタート5分前	予告信号	クラス旗、コース旗を掲揚	1声
4分前	準備信号	P旗、又はI旗、又は黒色旗の掲揚	1声
1分前		準備信号、コース旗の降下	1声
0	スタート信号	クラス旗の降下	1声

- 10.5 スタート順はシーホッパー級SR、FJ級、OP級、そしてミニホッパー級とします。
- 10.6 予告信号が未だ発せられないクラスは、スタート・ラインから離れていなければなりません。
- 10.7 海象の状況でスタートの順番を変更する場合があります。その場合はスタート運営船にスタートの順番およびスタート間隔を掲示します。
- 10.8 スタート信号後4分を経過した後は、当該クラスのスタート・ラインは消滅するのでそれに該当する競技艇はDNSと記録されます。
- 10.9 海上において引き続きレースが行われる場合には、スタート運営船にL旗を掲げスタート時間と順番を表示します。
- 10.10 スタートの時刻を延期する時は、スタート運営船に回答旗を掲げ長音2声を発生します。
- 10.11 スタートを延期した次のスタートは、回答旗降下(長音1声)の1分後に予告信号が発せられます。

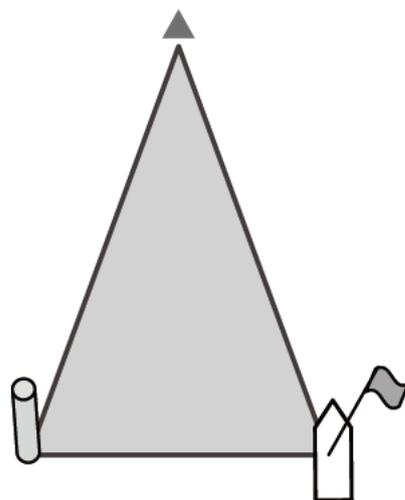
### 11. リコール

- 11.1 リコールの場合には、RRS29.1によりスタート運営船からX旗を掲げ長音1声を発します。
- 11.2 リコールした全ての競技艇が正しくリコールを解消した時、またスタート信号後4分が経過した時のいずれか早いほうにX旗を降下します。

### 12. ゼネラル・リコール

- 12.1 多数の競技艇が早すぎるスタートで見分けることが出来ない時、RRS29.2により第1代表旗を掲げ長音2声を発声します。
- 12.2 「黒色旗規則」とは、スタート信号の1分前から次頁の三角形の中にある艇を失格とすることを意味します。

- 12.3 RRS30.3 黒色旗規則が適用されたレースにおいてゼネラル・リコール信号が発せられた場合は、同黒色旗規則に違反した艇のセール番号はスタート運営船の後部に掲示されます。掲示された競技艇はレースエリアから速やかに離れなければなりません。またレースが再スタート、再レース及び予定変更となった場合もそのペナルティーを引き続き受けることとなります。(RRS30.3)
- 12.4 「黒色旗規則」に違反した競技艇は、第1マークでレース海面から排除します。セール番号を呼ばれた艇は、レース委員会運営船の指示に従ってレース海面から離れてスタート・ライン付近で待機してください。



### 13. スタート後のコースの変更

- 13.1 レース中のコース変更は、実施しません。(RRS33 を変更しています)

### 14. コースの短縮

- 14.1 レース中にコースを短縮する場合は、レース委員会運営船にS旗を掲げ音響信号2声を発声します。
- 14.2 コース短縮の場合のフィニッシュ・ラインは、当該マークとS旗を掲げたレース委員会運営船のS旗を掲揚しているポールの間とします。
- 14.3 クラス旗の上にS旗が掲げられた時は、「そのクラスのみ短縮されている」ことを意味します。

### 15. フィニッシュ

- 15.1 フィニッシュ・ラインはレース委員会運営船のブルー旗を掲揚しているポールと黄色の円柱型ブイとの間とします。帆走指示書14.のコース短縮の場合は、その限りではありません。
- 15.2 先頭艇のフィニッシュ時には、音響信号1声を発声します。

### 16. タイムリミット

- 16.1 タイムリミットは、当該クラスの先頭艇がフィニッシュしてから15分以内とします。タイムリミット内にフィニッシュできない競技艇は、DNFとして記録されます。

### 17. 失格に代わるペナルティーと規則42に対する特別な処置

- 17.1 RRS第2章の規則違反に対するペナルティーの履行は、RRS44.1、44.2(2回転のペナルティー)を適用します。
- 17.2 RRS42. 違反している艇に対し付則Pを適用します。

### 18. 抗議および救済の要求

- 18.1 抗議する競技艇は、できるだけ相手艇に「プロテスト(抗議)」と声を掛け抗議する意思を伝え、フィニッシュ後にレース委員会運営船に報告し、相手艇のセール番号を報告してください。
- 18.2 抗議する競技艇は陸上本部で入手できる用紙に記入の上、その日の最終レース終了後60分以内に提出しなければなりません。但し、プロテスト委員会の裁定により締め切時間を延長することもあります。
- 18.3 プロテスト委員会は受付順に審問をおこないます。競技者への審問の時間・場所の通知は、公式掲示板に提示されます。

## 19. 得点

- 19.1 本大会は、7回のレースを予定しますが、3回のレースが完了すれば大会が成立するものとします。
- 19.2 5回以上レースが行われた場合、最も悪い成績の1レースを除外した合計で順位を決定します。
- 19.3 R R S 付則Aの低得点方法を適用します。
- 19.4 帆走指示書20.2、20.3のペナルティーの略語は、P F P (Penalty of Five Points)とします。
- 19.5 帆走指示書20.2、20.3の違反によるペナルティーを受けた競技艇のセール番号は、抗議時間内に公式掲示版に掲示します。

## 20. 安全規程

- 20.1 レースからリタイアする競技艇は、レース委員会運営船にリタイアすることをできるだけ早く報告しなければなりません。そしてレース委員の指示に従ってください。
- 20.2 O P クラス規則3.3.4、4.2(a)・(b)・(c)に違反したヨットの得点は、違反を認められたレースについて、審問を経ないで、ペナルティーとして5点加算されます。
- 20.3 参加選手は、出艇前および帰着後30分以内に、陸上本部受付にある申告用紙に署名し、チェックイン/チェックアウトを行わなければなりません。このチェックイン/チェックアウトは自分自身で行い、他人に頼んだりしてはいけません。
- 20.4 帰着後は、陸上本部にリタイアしたことを報告しなければなりません。
- 20.5 競技者は、離岸から着岸までライフジャケットを着用しなければなりません。但し、衣服の着脱に携わる短時間の場合はこれを除きます。
- 20.6 ヨットが転覆しても競技艇から離れないようにつかまっていなさい。救助を求めるときは手のひらを広げて大きく振りなさい。
- 20.7 安全のためレース委員会の判断で、レースの途中で選手の意向にかかわらず救助する場合があります。  
これはR R S 62.1(a)による救済の根拠にはなりません。

## 21. 貸与された艇（チャーター艇）の破損および装備品の改良

- 21.1 貸与艇には、他の競技艇と識別できるように、ハルのバウに番号を貼付します。  
(RRS 付則G - G 3)
- 21.2 貸与艇、セール、その他艀装品の破損、性能の違いを理由とする再レースまたはレース中止による救済要求は認めません。
- 21.3 貸与艇、艀装品に穴を開けて改良してはならず、艀装品は貸与を受けた状態にして返却してください。
- 21.4 貸与艇を破損した時または備品を紛失した時は、実費を請求します。
- 21.5 貸与された艇は、最終日の最終レース終了後にチェックを受け返却を行なってください。

## 22. 装備品の交換

- 22.1 損傷または紛失した装備品の交換は、レース委員会の書面による承認がなければ許可されません。
- 22.2 損傷または紛失した装備品の交換が海上の場合は、レース委員会に確認後、許可されその交換した装備品は、その日のレース終了後に計測委員会による検査を受け、書面による承認を受けなければなりません。

## 23. 特別規定

- 23.1 本大会は艇体計測後に、クラス規則、帆走指示書に従っていることを確認するためレース期間中に任意に計測することがあります。
- 23.2 シーホッパー級SRは、クラス規則に従ってアンカー、アンカーラインおよびパドルを搭載しなければなりません。
- 23.3 FJ級は、アンカー、アンカーラインを搭載しなければなりません。
- 23.4 曳船用ロープは、クラス規則に基づき搭載し、一端を固縛していなければなりません。チャーター艇の曳船用ロープが取り付けしていない場合は、各自で準備し取り付けてください。
- 23.5 ミニホッパー級のセールについては、純正品か否かは問いません。但し、クラスマークとセールナンバーが付いていることが原則です。
- 23.6 本大会のミニホッパー級のブームバングは、他のブームバングに変更しても良いです。但しブームバングのロープの構成は最大2本までとし、ブームバングのテークル数は最大1/8までとします。
- 23.7 レース委員会から要請にあった上位艇は、ハンディーGPSを必ず搭載しなければなりません。その搭載による選手から、救済の要求はできません。GPS搭載艇のセールナンバーおよび搭載場所を公式掲示板に掲示します。
- 23.8 各クラスの総合1位～3位選手には、順位識別ビブスをその日の最初のレース前に、陸上本部で配布します。またビブスが配布できない場合は、1位(黄色)、2位(赤色)、3位(青色)のペナントを配布するので、セールに貼付してレースに出場しなければなりません。このビブス、ペナントは、24日、25日の最初のレースが始まる前までに陸上本部で配布します。

## 24. 運営船

- 24.1 運営船の標識は、以下の旗を掲揚します。

レース委員会運営船	緑色旗
プロテスト委員会船	白字に「JURY」と表示された旗
レース委員会救助船	緑色旗または黄色旗
観覧、プレス船	白字に「YMF S」と表示された旗
支援艇	ピンク旗

## 25. 支援艇

- 25.1 支援艇を持参したクラブは、大会前に大会本部で受付を済ませてください。海上では、受付後に配布されるピンク色旗を掲揚しなければなりません。
- 25.2 支援艇は最初のクラスの準備信号からレースエリアに入ることを禁止し、各マーク、コースから50m以上離れ引き波を立てずに航行しなければなりません。
- 25.3 全ての支援艇に対する救助活動要請は、レース委員会スタート運営船にF旗を掲揚し通告します。この要請があった場合に限り、支援艇は救助活動のためレースエリアに入ることができます。
- 25.4 支援艇は大会期間中、運営委員会の指示に従って決められた場所に係留、保管し大会期間中の出艇・帰着申告を陸上本部へ申告しなければなりません。

## 26. ゴミの処理

各艇はごみを水中に捨ててはいけません。ごみは、支援艇およびレース委員会船に渡してもよいです。

## 27. 賞

27.1 クラスごとの上位選手に賞を授与します。

(1) シーホッパー級 S R	(総 合)	1 位～3 位
	(女 子)	1 位～3 位
(2) ミニホッパー級	(総 合)	1 位～3 位
	(女 子)	1 位
(3) F J 級	(総 合)	1 位～3 位
	(女 子)	1 位
(4) O P 級	(総 合)	1 位～3 位
	(女 子)	1 位～3 位

※当該クラスの参加隻数が30隻以上の場合は、総合成績の6位まで授与します。

27.2 クラブ対抗の上位チームには、特別賞を授与します。

- (1) 同じクラブの各クラスの上位の成績を合計し、最も得点の少ないクラブに賞を授与します。
- (2) 全てのクラスに参加しないクラブに対しては、参加しないクラスの参加隻数の1/2の得点を与え総合得点を算出します。

27.3 2013年度ユースナショナルチーム候補選手への推薦および全日本出場枠の付加

- (1) シーホッパー級 S R の男女上位者1名を「2013年度ユースナショナルチーム候補選手」として(公財)日本セーリング連盟ジュニア・ユース育成強化委員会へ推薦します。
- (2) O P 級上位2名は、2013年O P 級全日本大会出場枠に日本O P 協会へ推薦します。

## 28. 責任の否認

28.1 参加選手は、自己のリスクと責任において大会に参加するものとします。(RSS 4)

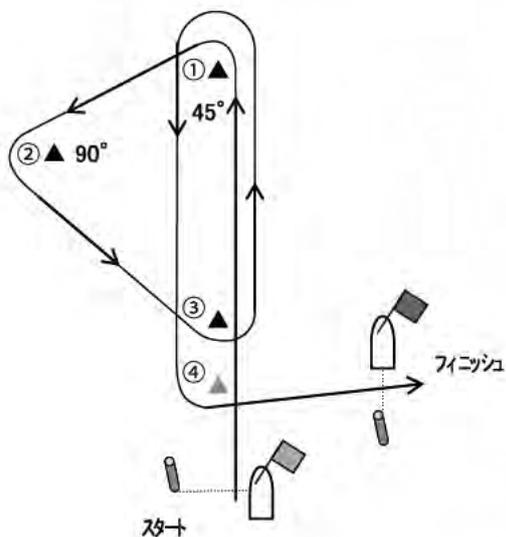
28.2 本大会の主催団体、レース委員会、またはこの大会に関わる運営役員、ボランティアは、競技者の大会前、大会中、大会後の事故及びその他の物質的な損害についての責任を否認します。

## 添付図1 &lt;コース図&gt;

## &lt;シーホッパー級SR/F J級のコース&gt;

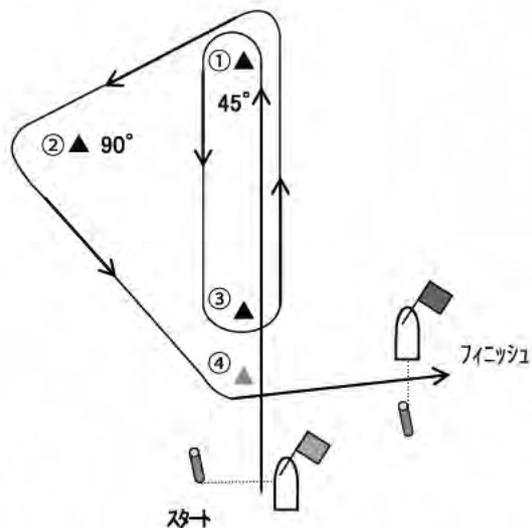
コース1 (スタート5分前/数字旗1掲揚)

スタート→①→②→③→①→④→フィニッシュ



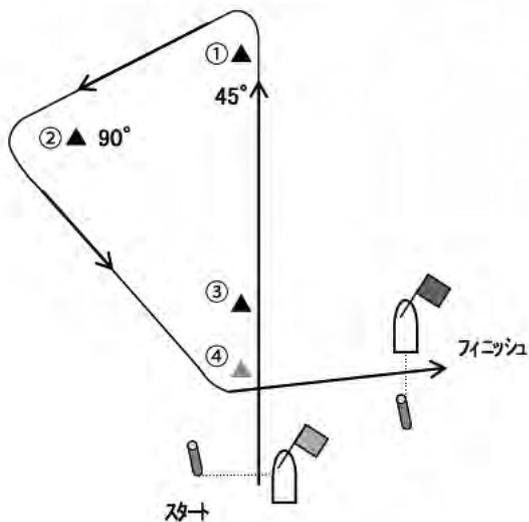
コース2 (スタート5分前/数字旗2掲揚)

スタート→①→③→①→②→④→フィニッシュ

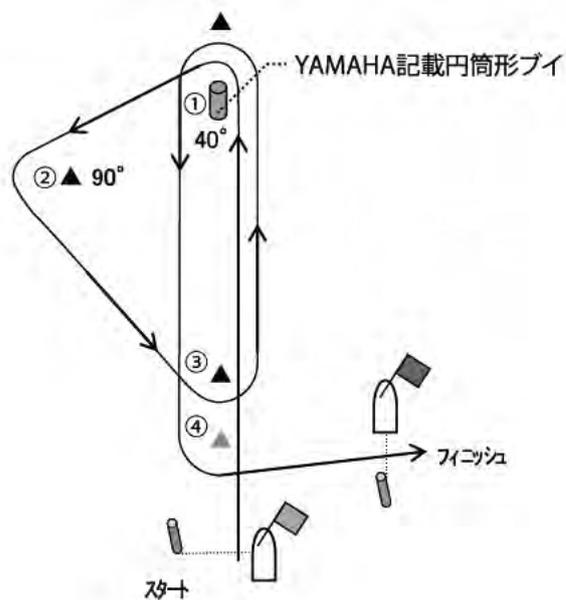


## &lt;ミニホッパー級のコース&gt;

スタート→①→②→④→フィニッシュ



## &lt;OP級のコース&gt;

スタート→①(YAMAHA記載円筒形パイ)→②→③  
→①(YAMAHA記載円筒形パイ)→④→フィニッシュ

▲ ①~③ オレンジ色 三角パイ

▲ ④ 赤色三角パイ

● YAMAHA記載円筒形

● 黄色円筒形パイ

添付図2

# レース海面

